

「甲州俳諧展 山口素堂の学識と文学」

そどう

甲州出身の山口素堂そどうをとりあげてその活動の意味を考えるのが、今回の企画です。素堂は不忍池に隠棲し、やがて葛飾へと移住していきます。その間に芭蕉と交流し、蕉門俳人ではないものの、芭蕉の俳諧を支える重要な役割を果たしました。その実態を、深川という土地に照準をさだめて探ってゆきたいのですが、深川である必然性とともにその効果をも問題にします。彼らが興じた漢詩文的世界が、素堂らを隅田川近辺に誘っていったと思われま

す。また芭蕉と素堂とは両車輪のごとく響きあひながら、俳諧活動を展開していきま

す。『野ざらし紀行』における素堂の序文・跋文はふぶん、素堂の「蓑虫説」みのむしせつにおける芭蕉の跋文と応酬しあひながら、彼らは文学的世界を増幅していったのです。その交流から

かもし出される魅力の一端を紹介できればと思っております。

今回は原資料の展示だけでなく、写真やコピーもふんだんに使用し、問題点を照射します。より視覚的でわかりやすい文学的世界を演出できればと思っております。



目には青葉山郭公はつ鱒

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------|
| 会 期 | 11月14日(日)～12月19日(日) |
| 開館時間 | 午前9時～午後4時30分(入館は4時まで) |
| 観覧料金 | 一 般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ()内は20名以上の団体料金 |
| 休 館 日 | 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し翌日休館)・第三火曜日・祝祭日の翌日 |

問合せ先

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎ (45) 80008

FAX (45) 82001

蕉風の源流 芭蕉のさと都留

第12回都留市ふれあい全国俳句大会作品募集

都留市は、天和2年江戸の大火によって家を焼かれた松尾芭蕉が、約半年間流寓の生活を送り、蕉風俳句への開眼を果たした地です。

このように、芭蕉と深いかかわりを持つ本市は、全国俳句愛好家にとって芭蕉の心にふれると共に、俳句を通じた文化の交流の場となることを念願し、都留市ふれあい全国俳句大会を開催します。



投句方法

① 一般部門

① 投句受付期間

11月1日(月)～12月24日(金)(当日の消印有効)

② 応募方法

所定の投句用紙(チラシ)に印刷・コピー可または市販の原稿用紙を使用し、未発表作品(四季雑詠)を楷書で記入し、住所・氏名(ふりがな)・電話番号・大会当日出席の有無を明記し、封書で投句してください。

投句料は3句1組、1,000円。何組でも構いません。投句料は郵便小為替支払いで、作品に同封してください。切手での支払いは出来ません。

投句者には、応募作品集を贈呈します。

③ 選者

稲畑 汀子 大串 章 鍵和田柚子 桂 信子

金子 兜太 黒田 杏子 廣瀬 直人 深見けん二

※所定の投句用紙は、都留市博物館「ミュージアム都留」、文化会館、各地域コミュニティセンターに置いてあります。

② 俳句ユニバーシアード部門

① 応募資格

大学生(大学院生含む)・短大生の方。または卒業後2年以内で年齢が28歳以下の方。国籍は問いません。

② 投句受付期間

10月15日(金)～平成17年2月15日(火)

③ 都留市ふれあい全国俳句大会インターネットホームページにて投句してください。

(<http://www.city.isuruyamanashi.jp/haiku/index.html>)

作品は「未発表作品(四季雑詠)」を日本語で応募してください。一人5句までとします。投句料は無料です。国籍は問いません。

④ 選者 長谷川 權 正木ゆう子

投句宛先並びに問合せ先

〒402-8501 山梨県都留市上谷1-1-1

都留市ふれあい全国俳句大会事務局宛

☎ 0554(45)80008